

# 止めよう！風しん！！

日本では、2018年から「風しん」の感染拡大が続いています。

風しんは、症状が出る前に、他人にうつしてしまう可能性もある病気です。

子どもよりも成人の方が重症化しやすく、

また、妊婦が感染すると、高い確率で子どもに障害（先天性風しん症候群）が残ることがあります。

## 風しんとは

- ① 症状：発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするが、15～30%は無症状である
- ② 潜伏期間：14～21日間
- ③ 感染経路：飛沫感染 インフルエンザより感染力が強い  
(発症約1週間前～発疹出現後1週間程度感染力がある)
- ④ 治療・予防：対症療法のみ 予防には**ワクチン接種**が有効

## 先天性風しん症候群（CRS）とは

○風しんに対して免疫のない女性が、特に妊娠初期に罹患した場合に出生児に引き起こされる障害。

- 出生児に引き起こされる障害としては、
- ・先天性心疾患、難聴、白内障が三大症状
  - ・ほかに網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球など

先天性の眼の病気  
・白内障  
・網膜症  
・緑内障  
など

先天性の耳の病気  
・難聴

先天性の心臓の病気  
・動脈管開存症  
など

・低出生体重  
・血小板減少性紫斑病  
など



免疫を持っていない可能性が高い41～58歳(※年齢は2020年4月2日現在)の男性を対象に、市区町村から、原則無料で「抗体検査」と「予防接種」を受けられるクーポン券を順次配布されています。

また、妊娠を希望する方やその同居されている方についても、市町村により補助が受けられる方もいますので、希望の方は市町村にご確認をお願い致します。

1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

風しんから、あなた自身と周りの人を守るために！

## STEP 1 : 住民票のある市区町村からのクーポン券を確認

2019年度: 41歳～47歳男性

※2019年度に届いたクーポンは2020年度も使用できます

2020年度: 48歳～53歳男性

※お住まいの自治体によっては、54～58歳の男性にも

2020年度に届きます。



## STEP 2 : 風しんの抗体検査を受ける (無料)

血液検査により行われますので時間はかかりません。

結果は後日届きます。

市区町村の事業なので、費用もかかりません。



## お近くの医療機関で受ける場合

本事業に参加している全国の医療機関（住所のある市区町村以外でも）で受けられます。

検査の際に、『クーポン券』と『お住まいの住所が確認できる書類』をお持ちください。

※住民票の住所が変わった方は、転居後の市区町村にクーポン券を再発行を依頼してください。

## STEP 3: 検査の結果を聞き、 免疫がない場合は風しんの予防接種を受ける

検査結果は、検査を受けたところで確認してください。

風しんへの免疫がなかった方 あるいは十分な量の抗体がなかった方は、予防接種を受けてください。

予防接種は、本事業に参加している全国の医療機関で受けられます。

予防接種を受ける際は、クーポン券と本人確認書類、抗体検査結果をお持ちください。

※クーポン券が使用できる医療機関リストは、

こちらをご確認ください。👉

